

登録コード	A3595474	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究					担当教員	内川 義行	
英文授業名	Thesis Research							
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年次生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					農業農村の計画・整備に関する知識や能力を修得する		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					農業農村の計画・整備に関する知識や能力を活かし国際的かつ地域的課題を発見、解決する能力を修得する		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					農業農村の計画・整備に関する知識や能力を活かし、的確な情報を収集・理解・発信する能力を修得する		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					農業農村の計画・整備に関する知識や能力を活かし国際的かつ地域的課題を発見、解決する能力を修得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	野外調査とその分析・検討を実施する。							
(5)授業計画	中山間地域の里地・里山地域における農村計画研究、特に棚田地域の整備・保全に関する技術開発と地域活性化のための実践を行う。最終回には授業アンケートを実施する。							
(6)自主学習の指針	随時、参考書を提示するのでこれにより実施すること。							
(7)成績評価の基準	）課題の背景・目的を説明でき，）課題への接近方法を適切に把握・実施しており，）結果について適正な処理とまとめができ，さらに）自らの見解を考察に既述できている。以上の，）から）を満たしていれば「かなり上にある」。三項目までできていれば「やや上にある」。二項目までは「水準にある」とする。							
(8)事前事後学習の内容	配付資料や参考書を事前に確認し，実施する内容について常に確認すること。 また，調査・研究した内容は，紹介した図書等についても十分に参考にし，それを深めること。							
(9)テストやレポートの予定	レジュメ作成および研究レポート作成を課す。							
(10)成績評価の方法	各回の課題提出・発表による。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	農村計画学研究室を訪問のこと。							
(12)履修上の注意	消極的な参加の方は遠慮ください。							
【教科書】	指定しない。各回で随時紹介。							
【参考書】	指定しない。各回で随時紹介。							